



平成28年産米 インセンティブ買入制度 決定!

平成30年からの生産調整の見直し(自主転作)やTPP交渉の行方も絡み、「売れる米づくり」の産地間競争はますます激化することと思われ、今後とも越前たけふ米の評価をさらに高めていくためには、安全で安心な米づくりとあわせて、価格に応じた食味と品質を確保し、消費者の信頼を獲得することが必要です。

今年は全国の過剰作付が解消され、需給が引き締まったことで、若干概算金米価が持ち直したものの、一昨年から比べれば尚低い水準で、今後の作柄状況によっては28年産の米価も不安定で皆目見当がつかない中、JA越前たけふでは実需者との早期契約栽培により、下記のとおり28年産米のインセンティブ買入制度を決定しましたので、其々作付の拡大をお願いいたします。

1. 特別栽培、慣行栽培 日本晴

目標面積 600ha

単位：1 俵あたり

品種	栽培区分	特別栽培	慣行栽培
日本晴		ハナエチゼン比 1,500円 加算	ハナエチゼン比 1,300円 加算

主食用米のみ ・ 効果的なラジコン防除、獣害防止のため集落単位での団地的作付を

2. 特裁省農薬 (無化学肥料・節減対象農薬8割減) あきさかり

目標面積 160ha

単位：1 俵あたり

品種	等級	1等	2等
省農薬あきさかり		14,000円 概算	13,000円 概算

取組要件

- ・ 特別栽培認証③で栽培期間中使用できる農薬は指定した除草剤1回のみ
- ・ 出荷にあたり、色彩選別機による処理ができる方(良質米出荷施設など)
- ・ 面的な取組が望ましく、日本晴とあわせ団地での作付を
- ・ 殺虫殺菌剤が使用できないため、畦畔の草刈りなど適正な肥培管理が必要(放任栽培は×)

3. 特別栽培 (化学肥料5割減・無化学肥料、節減対象農薬5割減) コシヒカリ

目標面積 500ha

単位：1 俵あたり

品種	整粒・食味値	1等		左記以外	2等
		整粒判定 70%以上			
		食味値85以上	食味値80以上		
特別栽培コシヒカリ		15,000円 概算	14,000円 概算	慣行コシヒカリ比 300円 加算	

※ 尚、省農薬栽培及び特別栽培に取り組まれる方は、今年の水稲収穫後より除草剤の散布が制限(成分カウント)されますので、注意してください

平成28年度は日本晴の作付を

～ 日本晴への作付転換で売れる米づくりを～

近年、食の欧米化や人口減少、高齢化で国内の米の需要は年々1%ずつ減少している中、27年産米の全国の米の作柄は平年並～やや良と見込まれ、平成30年からの生産調整の見直し(自主転作)やTPP交渉の行方も絡み、主食用米の全国民間在庫量は今後も増え続けることが予想されます。

このような中、JA越前たけふでは寿司用や酒の掛け米などニーズの多い日本晴の一大産地を形成し、外食業者等との複数年契約の早期締結を目指した「売れる米づくり」をより一層進めることとしています。

つきましては、今年度ハナエチゼンを作付の皆様には、平成28年産は日本晴への切換をお願いいたします。

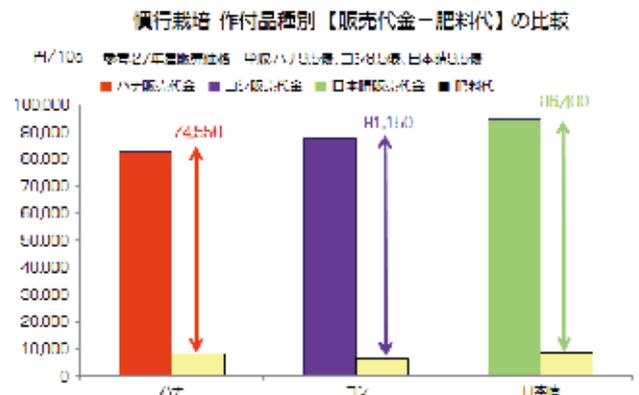
① ハナエチゼン売れていない現状



現在、JA管内ではハナエチゼンは10,000俵(100ha)の需要量に対し、その6倍の600ha程度作付がされています。「早く稲刈りを終えたい」とか「作期を分散したい」などの理由があつてのことと存じますが、今後は益々ハナエチゼンの需要は少なくなると思われることから、消費者に求められている日本晴への作付転換をお願いします。

② 日本晴の買入価格メリット

慣行栽培の場合、27年産の日本晴はハナエチゼンに比べて1俵あたり1,300円(特裁の場合:1,500円)を支払うこととしています。これは10aあたりに換算すると11,850円、コシヒカリと比べても5,250円の所得の拡大となります。



③ 酒の掛け米など加工用米にも

生産調整の対応としてハナエチゼンの加工用米を生産されている方向けにも、日本晴は日本酒の原料としての販売も見込めることから、加工用米の対応もできるよう、販路を開拓中です。

又、来年度から日本晴の作付がハナエチゼンを上回るようになり、平成30年迄にすべてのハナエチゼンを日本晴へ移行していく予定です。

